

令和 3 年度第 1 回知立市総合教育会議議事録

審 議 日 時	令和 3 年 5 月 13 日（木） 13：15～14：40			
審 議 場 所	知立市役所 4 階 第 4 会議室			
出 席 者	市 長	教育長	蔭山委員	竹内委員
	宇納委員	太田委員		
事 務 局	企画部長 教育部長 企画政策課長 教育庶務課長 学校教育課長 企画政策課課長補佐 学校教育課指導主事 企画政策課担当			
議 題	（１）オンライン教育の進捗状況について （２）その他			
企画部長	定刻となりましたので、只今より令和 3 年度第 1 回知立市総合教育会議を開催します。 本日の議題は「オンライン教育の進捗状況」です。 それでは、議事の取り回し等は、知立市総合教育会議設置要綱第 4 条第 1 項において、市長が議長となり、議事を総理するとありますので、市長にお願いします。よろしくお願いします。			
議長（市長）	本日は、ご多用の中お越しいただきありがとうございます。コロナ禍につき、体調管理には十分にお気をつけいただきますようお願いいたします。 本日の議題は、「オンライン教育の進捗状況」です。本市では GIGA スクール構想を着実に推進しており、1 人 1 台タブレット型 PC を配置しております。私自身、どのような状況なのか関心があり、取り上げさせていただきました。 それでは、担当課より議題についてご説明願います。			
学校教育課指導主事	（知立市 GIGA スクール構想の進捗状況について、資料に沿って説明）			
議長（市長）	ありがとうございます。委員の皆様から順番にご意見をいただけたらと思います。 太田委員、いかがでしょうか。			
太田委員	放課の時間もタブレットは使えますか。			
学校教育課指導主事	学校ごとにルールを決めている段階ですが、私が把握している限りでは授業で使っています。			
太田委員	私が知っている学校では放課も使っている学校はあります。たとえば、肺がどこにあるか等、体の部位を当てはめるパズルや県名を地図に当てはめるアプリがあります。子どもたちはそれを何秒でできるか競い合い、学びにつながっている事例もあります。			

学校教育課指導主事	また、友達を作りづらい子は放課が一番つらい時間です。タブレットがあると、学校に来るのを嫌だと思ふ気持ちが軽減される研究もありますので、放課中の使用を検討していただけたらと思います。 また、岐阜県の事例ですが、フィルター制限のくぐり抜け方を子どもたちが見つけて共有することで、ゲーム等をしてしまい、昼夜逆転してしまったことがあります。その点については、どのように研究されていくのかを知りたいです。 朝から帰りまでタブレットを使っていいというルールでスタートした学校もありますが、放課中ずっとタブレットを使っている姿を問題視する意見も挙がりました。子どもたちと使い方についてしっかりと考え、ルールを整備した上で、どんどん使わせていきたいと思います。 また、フィルターをくぐり抜けてしまう点については、業者に絶対に変更できないように設定してほしいと相談しても難しいと言われます。やはり子どもたちと使い方を考えていくことが大切だと思っています。この点についてどのように働きかけていくのがよいか研究しています。
議長（市長）	放課中に教室にいるのがつらい子は、図書室に行ってもらうのもいいかもしれませんね。 蔭山委員はいかがでしょう。
蔭山委員	二点申し上げます。 一点目は、リモート教育についてです。主に不登校の児童生徒が自宅等から学校とコミュニケーションをとれるようになればいいと思います。家庭の Wi-Fi 設備は、公が不登校の児童生徒の家に優先的に負担してほしいと期待しています。 二点目は、IT メディアを使うという手段自体が目的になってしまわないかを心配しています。どの手段にもメリットとデメリットがあります。今の日本の学校教育は、IT メディアのメリットばかりが強調されているように思えます。デメリットや、教育目標と IT メディアとの研究をしっかりとやるべきだと思います。
議長（市長）	ありがとうございます。まず一点目について、担当課としてはいかがでしょう。
学校教育課指導主事	校内でも別室登校している子はいますので、別室と教室、学校と知立東小学校にあるむすびあい教室とはオンラインでつながることを確認しています。ただ、まだ環境整備の確認までができていない段階で、実際の取組は行っていません。不登校の児童生徒は様々な理由で学校に足が向かないと思われますが、今お話ししたような別室対応ができるということは先生方に周知しています。
蔭山委員	アメリカでは教師が不登校の児童生徒の家まで行っています。しかし、日本は学校に来られない子はお手上げのような状況が続いてきました。こういった状況を打開するた

	めにも、ぜひ進めていただけたらと思います。
議長（市長）	今はスタートしたばかりなので、まず通常の授業での GIGA スクールの環境を整備しています。落ち着いてきたら、不登校や外国人児童生徒に対する対応も行っていきたいと思います。 二点目については、いかがでしょうか。
学校教育課指導主事	タブレットにより個別最適化された学習につながっていくと考えています。また、ロイロノートのような協働学習支援アプリを活用して協働的な学びを促すことも GIGA スクールの目的にあります。 ただ、タブレットはあくまで道具だと認識し、必要に応じて使っていくことを考えています。授業でも 45～50 分ずっとタブレットを使い続けることはあまりないかと思います。
蔭山委員	独創性を育むということについて、タブレットの効果はいかがでしょうか。
学校教育課指導主事	いろいろな独創性があるとは思いますが、iPad はデザインを創っていく上で有効だということは把握しています。
蔭山委員	絵画の面での独創性もありますが、ものの見方・考え方を育むということに本当に寄与できるのかを心配しています。目的を忘れずに、もう少し総合的・全体的に考えていく必要があると思います。
学校教育課指導主事	タブレットで多くの情報を瞬時に集めることができることは良いと思っています。これまでは、先生が数人の児童生徒を指名して発言させて、それをクラスで共有していくというスタイルでした。今はロイロノートを使うことによって、クラス全員の意見を集約でき、子どもたちも見られるようになっていきます。ただ、このような機能をどのように使っていくのかしっかり研究することが課題だと考えています。
蔭山委員	情報がすぐに手に入ることは、考える前に調べてばかりになってしまうという危険性もあります。
学校教育課指導主事	今の学習指導要領上では、知識は集めていくものであり、それをどう活かしていくのが課題となっています。膨大な情報の中から必要な情報をきちんと取捨選択し、行動ができる子どもを育てていくということが、とても大切だと考えています。
議長（市長）	ありがとうございます。竹内委員はいかがでしょうか。
竹内委員	やはり調べたことが画面上に出ると、完全に理解していなくても分かった気になって

学校教育課指導主事	しまうという危険性はあると思います。完全に理解できたかどうかテストをしていくことが重要だと思います。 また、子どもたちがどんなページを検索しているか、ゲーム等をしていないかチェックする仕組みがないと良くない方向に向かっていってしまうのではないかと心配しています。 先日の文科省のオンライン会議で、PISA 2018 の調査結果として日本の ICT 活用状況の話がありました。日本の子どもたちは、授業や学習で ICT を活用する時間が先進国の中で最下位クラスでした。しかし、ICT 機器を通じ遊ぶことに関しては、トップクラスでした。 こうした結果を踏まえ、いかに学びにつながる態度を育てるかということが、学習指導要領の大きな柱だと思いますので、学びの中で ICT 機器を活用していく方向性に持っていかなければならないと考えています。
竹内委員	何時以降はタブレットを使ってはいけない等、ある程度で歯止めをかけないといけないのではないかとと思います。
議長（市長）	ありがとうございます。家にタブレットを持ち帰る際には、そういったルール作りも必要かと思います。 宇納委員はいかがでしょうか。
宇納委員	情報を集める能力をどのように育てるのかご質問したいです。たとえば、自動車のデザインについて、一般的にはあまり好まれないようなアウトローな改造をして走っている若者がいて、ある企業はむしろそれを参考にし、デザインを磨き上げるということもあります。そういった例から、何が良い悪いという判断はそのときそのときであるのかもしれませんが、大きな視点で独創性を育むことが大切なのではないかとと思います。フィルターをかけることも大事だと思いますが、何を振るい落とすのかについては、今後研究していただけたらと思います。 また、生徒の想像力が低下する可能性があります。情報をインターネットで検索し、組み合わせることで、たしかに形としては出来上がります。しかし、これはオリジナリティには欠けると思われます。取り組む課題によるとと思いますが、このようなまとめ方を良しとするのか研究をしてもらえたらと思います。 また、ロイロノートを使った個人同士での中傷や、個人情報の流出の対策についても考えてほしいと思います。 英語学習では、外国人の講師を活用していますが、オンラインの英語教育を推進してもらえたらと思います。 また、小学生にタブレットのヒアリングを行ったところ、大半は良いとのことでしたが、タブレットが時々フリーズし先生が困ることがあると聞きました。故障の相談窓口として業者と契約する必要があると思います。

学校教育課指導主事	iPadにはキーボードがありませんが、タイピングはどのようなになるのかもお聞きしたいです。 想像力の育成についてはこれまで培われた教育方法とタブレットとをうまく組み合わせる必要があると思います。画面を見ただけで分かった気にならないよう、適切な指導方法を研究していかないといけないと思っています。 個人情報の取扱いについては、運用ルールを作り、学校に周知しています。子どもたちにも発達段階に合わせて個人情報の取扱いについて指導しています。まずは先生自身が、しっかり勉強しなければいけないと思っています。情報教育研究推進委員会で研究し、各校に周知していきたいと思っています。 英語学習のオンライン化は、他市の事例ですが、ネイティブの方が画面上で発声するという事例もあります。費用面の課題はあるかもしれませんが、ぜひ研究をしたいと思っています。 故障に関する相談窓口については、何か問題があれば業者の方に連絡することになっています。導入した当初は、Wi-Fiの接続やタブレットの初期不良がありましたが、その都度対応してきていますので、今はフリーズ等の問題についてはあまり聞いておりません。 iPadは、キーボードに直にタイピングした方が良いとのことでしたので、取り付け型のキーボードを購入しました。レポートを書く等、必要に応じて使う予定です。
議長（市長）	もし英語のオンライン教育をぜひやりたいということであれば、担当課は予算を要望してください。 他にご意見のある方はいらっしゃいますか。
太田委員	朝の15分を使い、アメリカにオンラインでつないでコミュニケーションをとっていた事例もあります。 また、タブレットを使い慣れている先生は効果的に使ってみえますが、慣れていない先生は導入前の形式の方がよかったのではと思われる場合もあります。子どもが何回も同じ意見を先生に送ったり、誤って別の授業での意見を送ってしまうこともあったそうです。
学校教育課指導主事	ロイロノートを使って意見を集約することは難しくありませんが、慣れていない先生はスムーズな活用に苦慮しています。今後検証していきたいと思っています。
蔭山委員	黒板を使わない教育も出てくると思いますが、黒板のメリットとして、全体を見ることが出来ます。タブレットの導入により、今まで意味のあったことがなくなってしまう危険性があります。
議長（市長）	ありがとうございます。学校教育課長はいかがでしょう。

学校教育課長	タブレットにより答えにすぐにたどり着いてしまうことについては、我々も問題意識を持っています。情報教育研究推進委員会の方でしっかり研究していきたいと思います。
議長（市長）	ありがとうございます。教育長はいかがでしょう。
教育長	まだ始まったばかりなので、いろいろな問題はあるかと思います。資料4ページにもあるとおり、新学習指導要領において、「情報活用能力」が「言語能力」や「問題発見・解決能力」と同様に『学習の基盤となる資質・能力』の一つと位置付けられ、とあります。PISA 調査等で、日本は情報活用能力が劣っているとされているため、これまでの問題発見・課題解決学習にプラスして、情報活用能力も伸ばしていくということが趣旨であります。その情報活用能力という点において、タブレットを有効活用できると考えています。したがって、今までの指導方法にタブレットという手段が加わったという認識でスタートする必要があります。教育の本来の目標である、たくましく生きる、知・徳・体の調和のとれた人間を育てるということは根本的に変わっておりません。 タブレットで一番心配しているのは、板書についてです。学習は振り返りが大事なので、子どもがそのときに限った学習に陥らないよう、自分の学習のデータをどのように残していくのか検討する必要があります。ただ、これには大きな容量のハードが必要になります。 また、社会は非常に早く国際化していますので、スピード感を持って進めていかないと取り残されてしまうと思います。 想像力・独創性は真似ることから学ぶということが大切だと思います。多くの情報を得て、真似ていき、自分で見つけ出していくことが重要だと考えています。自分の好きなことはどんどん調べるといいますので、独創的な子どもは育ってくると思います。ただ、関心のない分野をシャットアウトしてしまう危険性はあるため、幅広い考え方が養われないという危惧もあります。 これまでは子どもが意見を板書し、先生がまとめるという受け身の授業が多かったですが、これからは子どもが主体的に学んでいく形となります。何を教えるかではなく、子どもが何を学ぶかという視点を押さえて、教員も授業をしていかないといけないと思っています。そのために情報教育研究推進委員会や教務主任、研修の中で研究を進めていき、課題を解決しながら取り組んでいきたいと思っています。
議長（市長）	ありがとうございます。知立市教育大綱では、いのちを尊ぶ態度と、たくましく生きる力を養うために、知・徳・体の調和のとれた学校教育を推進すると掲げています。この方針は、これまでの教育方法でもタブレットを使ったとしても変わりません。より良いGIGA スクール環境ができるように今後とも進めてまいりたいと思います。 それでは、「オンライン教育の進捗状況について」は、以上とさせていただきます。次の議題の「その他」ですが、何かご意見のある方はいらっしゃいますか。

宇納委員	朝日新聞は性教育について連載しています。今は密を避けるため講演を開催しづらい状況ですが、性教育について様々な分野の方が意見されていますので、今後総合教育の中で考えていけたらと思っております。
議長（市長）	ありがとうございます。少し話が逸れるかもしれませんが、知立市は困窮世帯への生理用品の配布を検討しています。性教育は重要だと思いますので、次回は性教育の現状について取り上げさせていただけたらと思います。 それでは事務局にお返しします。
企画部長	次回、総合教育会議は令和4年2月9日（水）午後1時15分から市役所4階第4会議室にて開催します。開催日が近付きましたら別途開催通知にてお知らせいたします。その他、随時緊急を要する議題が発生した場合は、総合教育会議設置の趣旨のとおり臨時的に開催をまいります。
議長（市長）	本日はどうもありがとうございました。 （終了）